

柏原地域の奈良平安時代

ー鳥ノ上遺跡の発掘調査及び確認調査結果よりー

社会教育課 文化財担当

主任 三ツ木 康介

奈良時代・平安時代（中央）

奈良時代

→710年平城京遷都から794年の平安京遷都までの84年間

【特徴】

- ・ 仏教の隆盛
- ・ 律令国家（中央集権国家）の完成
- ・ 三世一身法、墾田永年私財法の施工

平安時代

→794年平安京遷都から1192年鎌倉幕府成立までの398年間（諸説あり）

【特徴】

- ・ 王朝国家体制の確立
- ・ 武士の成立

奈良時代・平安時代（狭山市）

武蔵国の入間郡に所属。

【当時の出来事】

霊亀2年（716年）高麗郡建郡（現在の日高市・飯能市）

→当時最先端の窯業や製鉄技術が当地方に流入したと考えられる。

落雷による火事により焼失した国分寺再建（845）

→東金子窯跡群での瓦や須恵器生産が開始

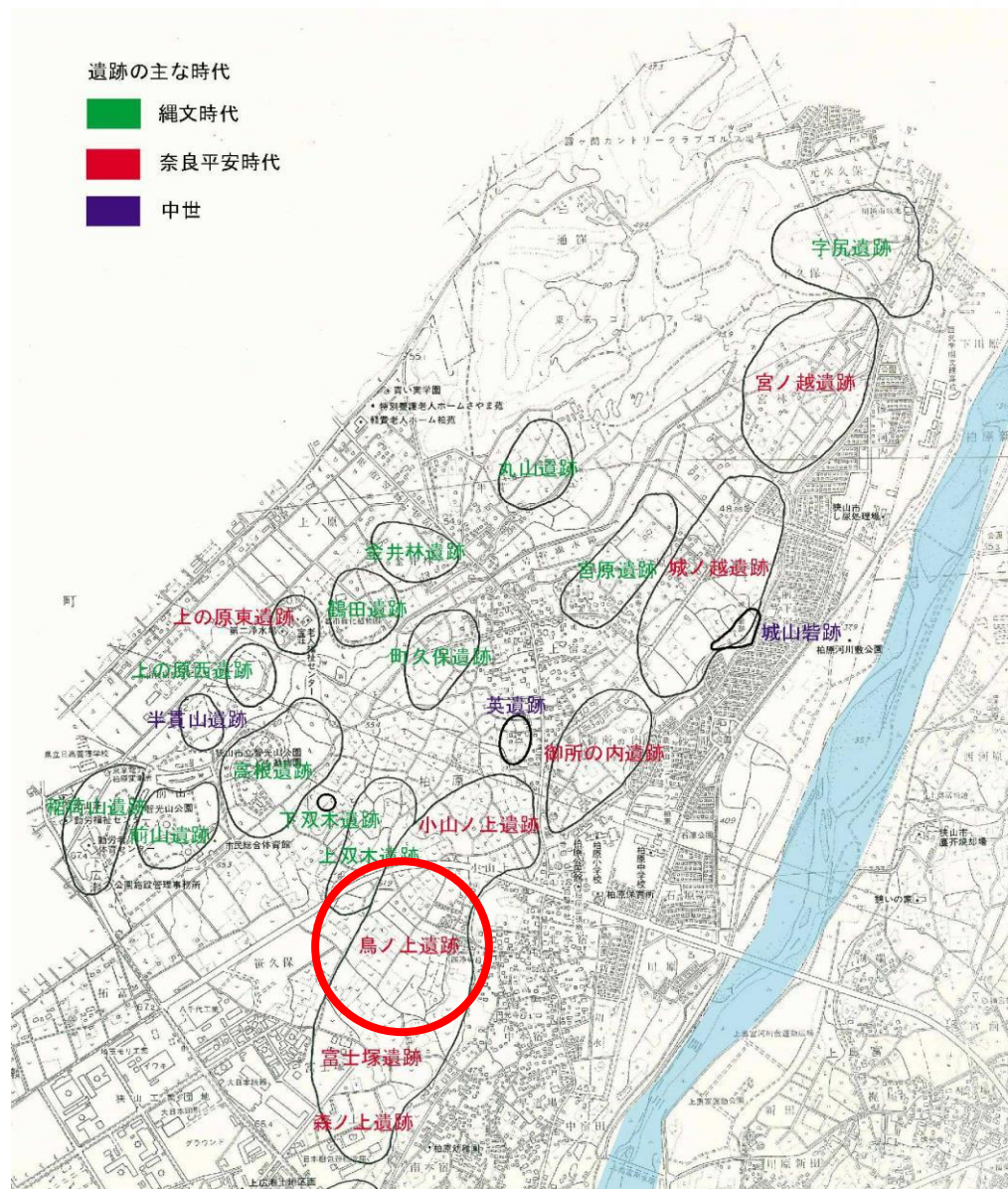
→実際に現時点で狭山市で検出している奈良平安時代の遺跡・遺物は8世紀中頃以降で、8世紀後半から9世紀ごろが最も多い。

柏原地域の遺跡

縄文時代 12箇所

奈良・平安時代 8箇所

中世遺跡 3箇所



鳥ノ上遺跡

【所在地】

入間川左岸の河岸段丘3段目の台地上に位置し、地番としては狭山市柏原字鳥ノ上に所在する。

【調査履歴】

平成21年度 第1次調査

→奈良・平安時代の竪穴住居跡2軒、掘立柱建物跡1棟、溝1条、土壇4基が検出

平成22年度 第2次調査

→奈良・平安時代の竪穴住居跡1軒、時期不明の道路状遺構1条、土壇1基が検出

平成28年～29年度 大規模確認調査

→奈良・平安時代の竪穴住居跡66軒、掘立柱建物跡2棟、溝10条、土壇133基が検出（平成29年11月30日現在）

鳥ノ上遺跡 調査範囲

①平成21年度調査

面積：約40,000m²

→平成21年度発掘調査

面積：約2,500m²

②平成21年度調査

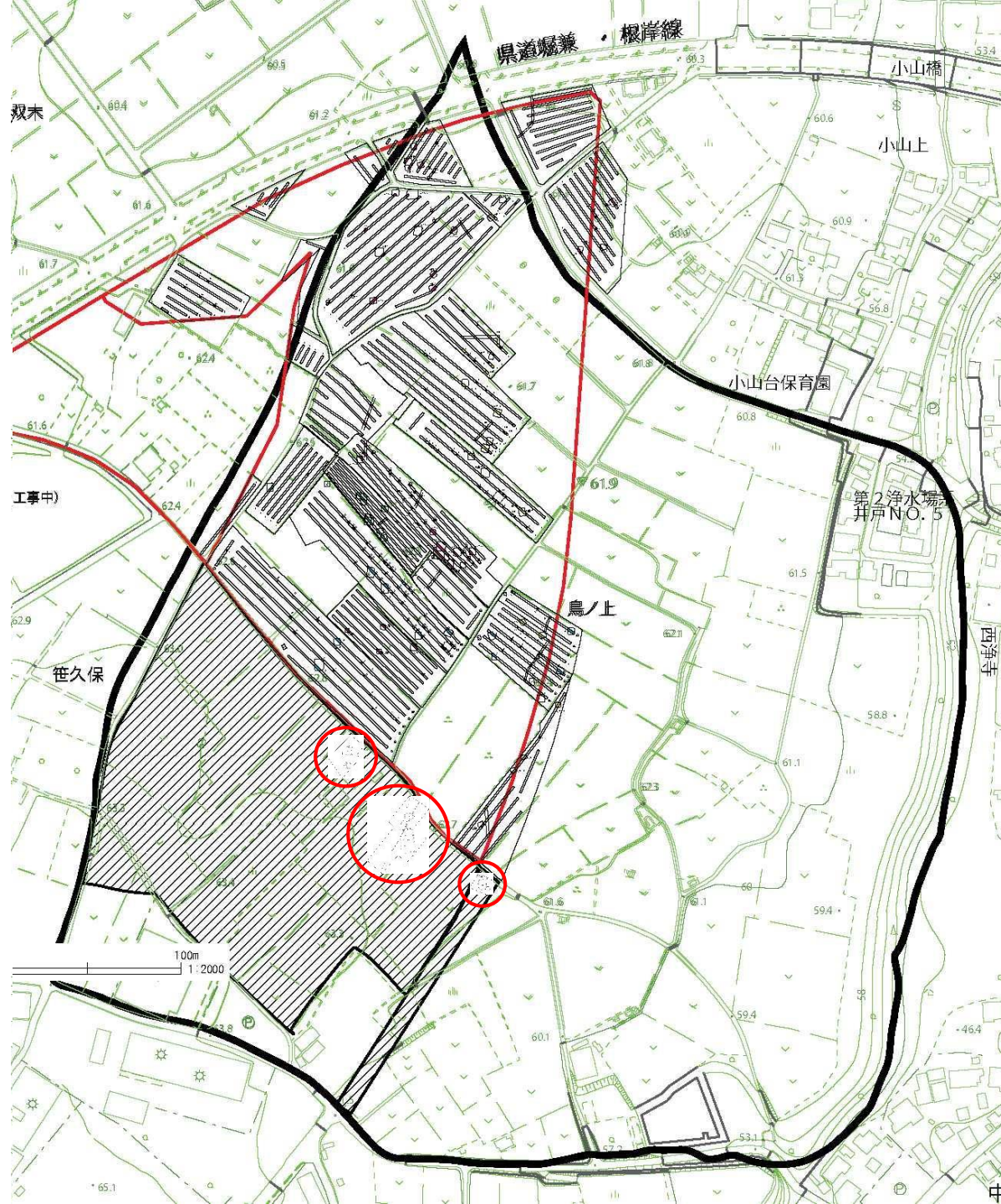
面積：約2,000m²

→平成22年度発掘調査

面積：約50m²

③平成28-29年度調査

面積：約70,000m²



鳥ノ上遺跡第1次調査成果

平成21年度調査

面積：約2,500m²

調査期間

平成22年1月12日から平成22年3月14日

A区

住居跡 1軒

掘立柱建物跡 1棟

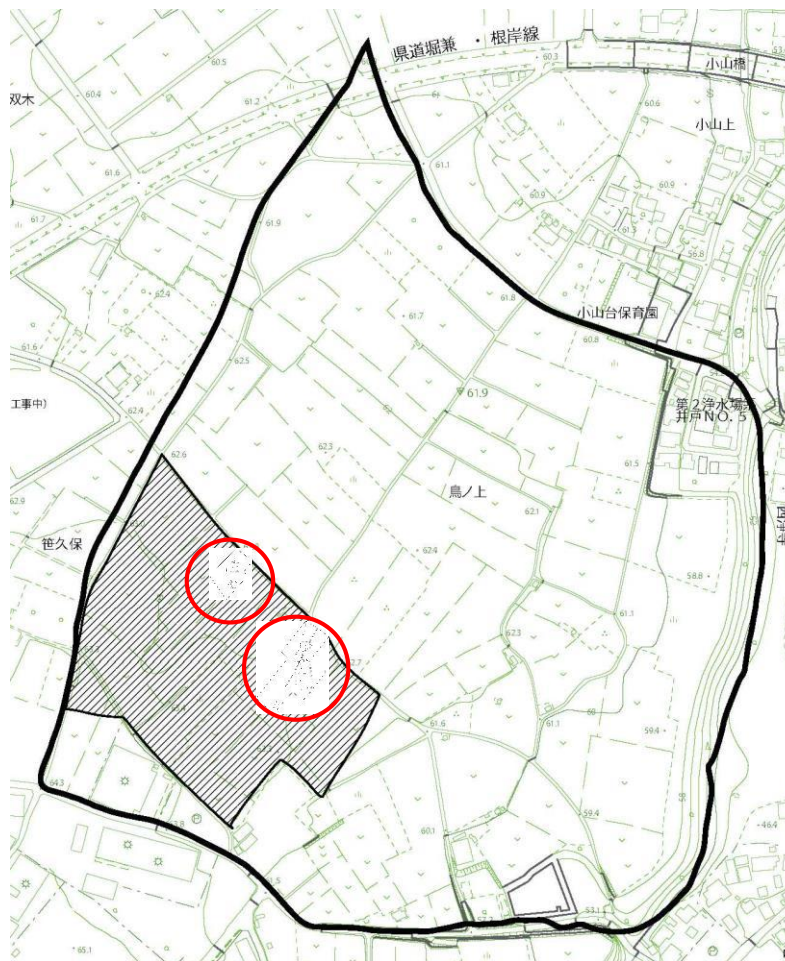
溝跡 1条

土壌 3基 (内1基は土壌墓)

B区

住居跡 1軒

土壌 1基



A区調査区全測図

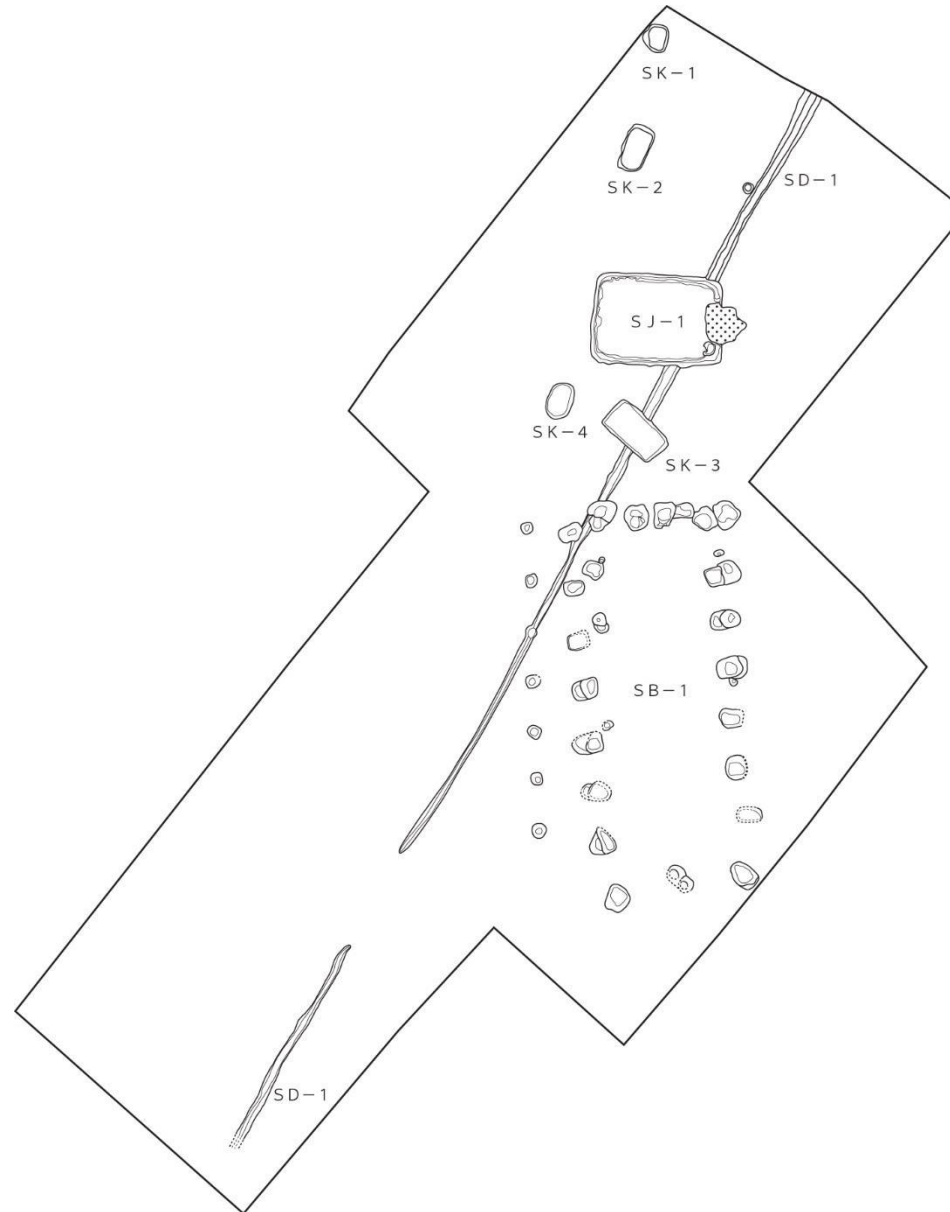
A区

住居跡 1軒

掘立柱建物跡 1棟

溝跡 1条

土壇 3基 (内1基は土壇墓)



A区写真



南から北に向かって撮影

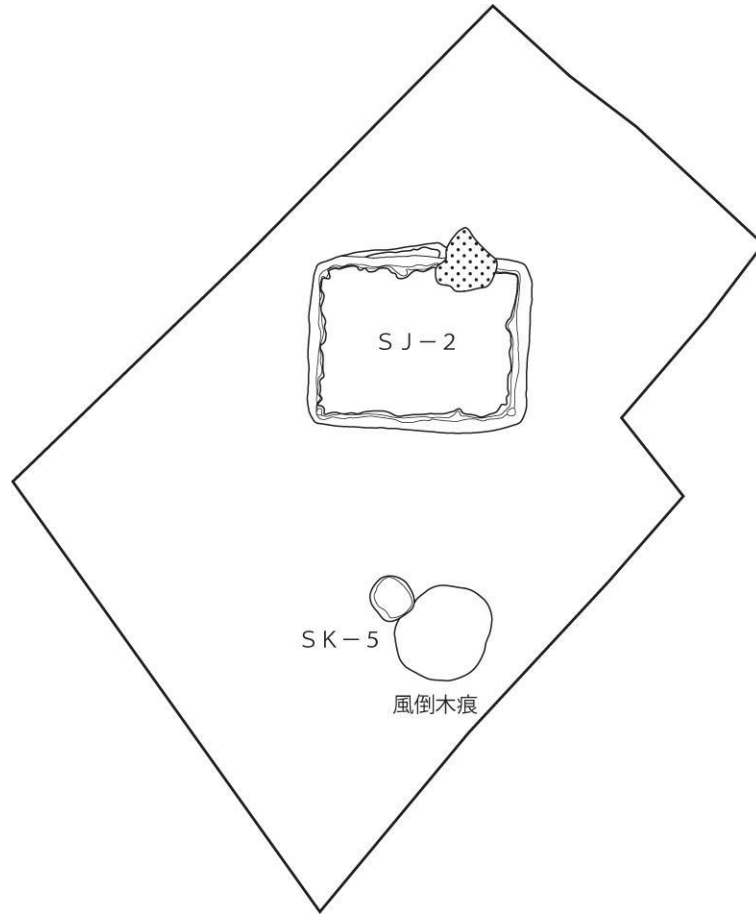


北から南に向かって撮影



土壇墓

B区調査区全測図



B区

住居跡 1軒

土壇 1基

B区写真



南から北に向かって撮影

住居跡近景



出土遺物



須恵器坏



須恵器蓋



土師器甕



釘

- ・他に、須恵器甕の口縁部や土師器甕の底部などが出土している。
- ・須恵器の産地は、南比企産と東金子産。
- ・南比企産の須恵器が多数を占める。
- ・時期は8世紀第2四半期～3四半期。

2 間× 7 間西庇付掘立柱建物跡



【規模】

東西 約5.0m

南北 約14.0m

主軸 ほぼ真北

【候補】

①宮殿

→総柱でないのでおそらく違う

②倉庫

→遺物の出土がごく少量なので、微妙

③馬小屋

→柱穴の間隔が短くどこから馬の搬出をしたのか不明瞭

④集会所

→集会を目的とした専門の建物を立てる必要性が不明瞭

何の用途に使用していたのか不明。
遺跡全体から用途を検討する必要がある

鳥ノ上遺跡第2次調査

平成22年度調査

面積：約50m²

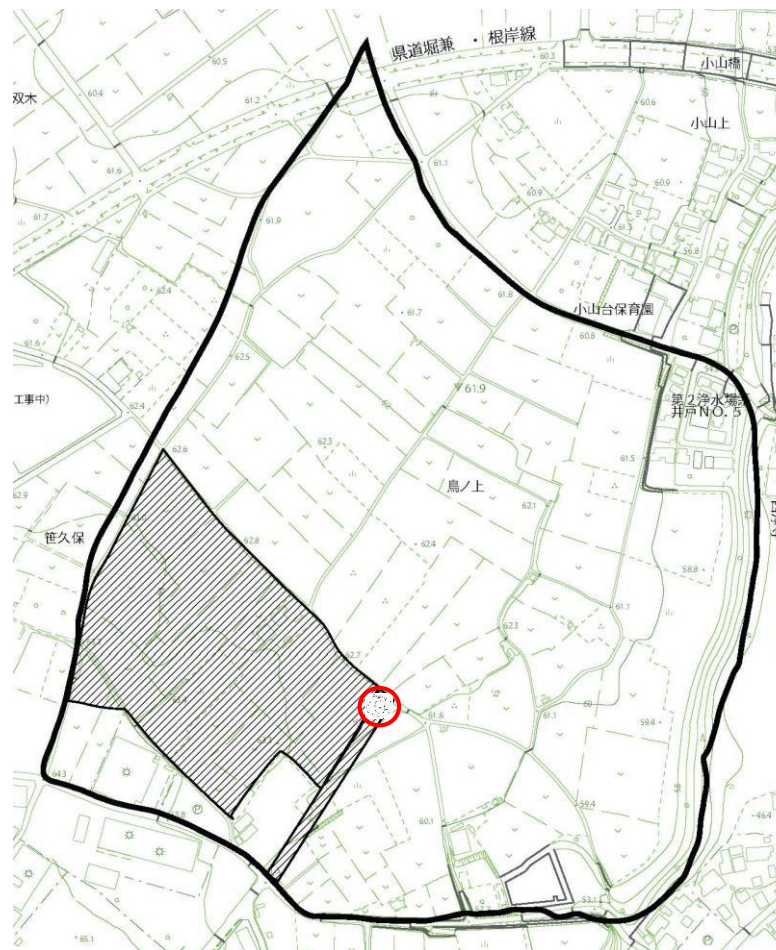
調査期間

平成22年4月19日から平成22年5月12日

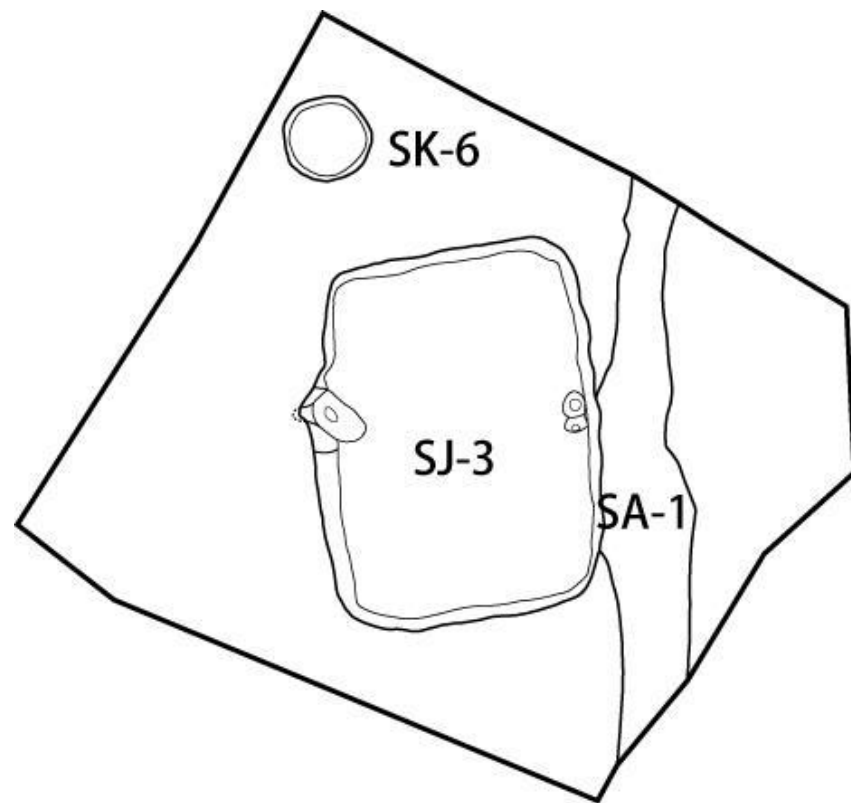
住居跡 1軒

土壇 1基

道路状遺構 1条



第2次調査区全測図



住居跡 1 軒

土壇 1基

道路状遺構 1 条

2次調査写真



東から西に向かって撮影

出土遺物



須恵器坏



土師器甕（口縁部分）



土師器甕（底部部分）

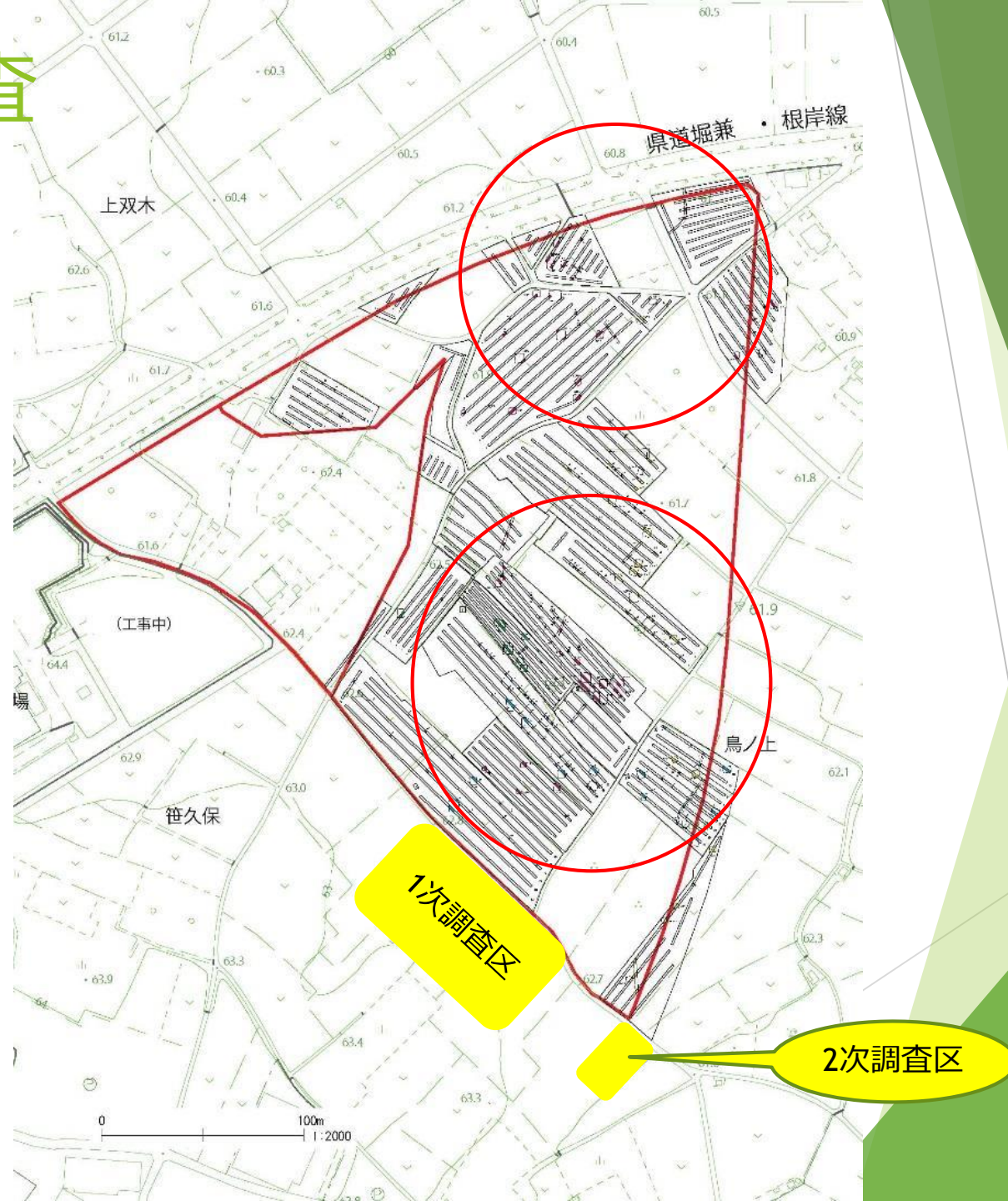
- ・他に、須恵器蓋や土師器坏の破片が出土している。
- ・須恵器の産地は、南比企産と東金子産。
- ・時期は8世紀第2四半期～3四半期。
- ・珍しいことに本住居跡のフク土中に出土した須恵器甕の破片と第1次調査の第1号住居跡のフク土から出土した須恵器甕の破片が合致した。

鳥ノ上遺跡確認調査 (平成28－29年度)

平成29年12月1日現在
竪穴住居跡66軒、
掘立柱建物跡2棟
溝10条
土壌133基

確認調査からわかること

- ①集落の中心が南側である
- ②北側にも別の集落がある可能性あり
- ③重複住居があることから一定の期間集落が存在したと想定される。



埋蔵文化財発掘協力員募集！

期間

平成30年5月～平成31年7月（開始と終了は前後することがあります）

時間

月から金の週5日

9時00分～15時00分（昼休憩1時間あり）

※作業中は適宜休憩を入れます

作業内容

遺構の発掘や遺構図面作成の補助

時給

910円

※勤務条件につきましては相談可能です

※発掘開始時期が定まっていない為、まずは事前登録をお願いします。

お気軽に登録
してください

